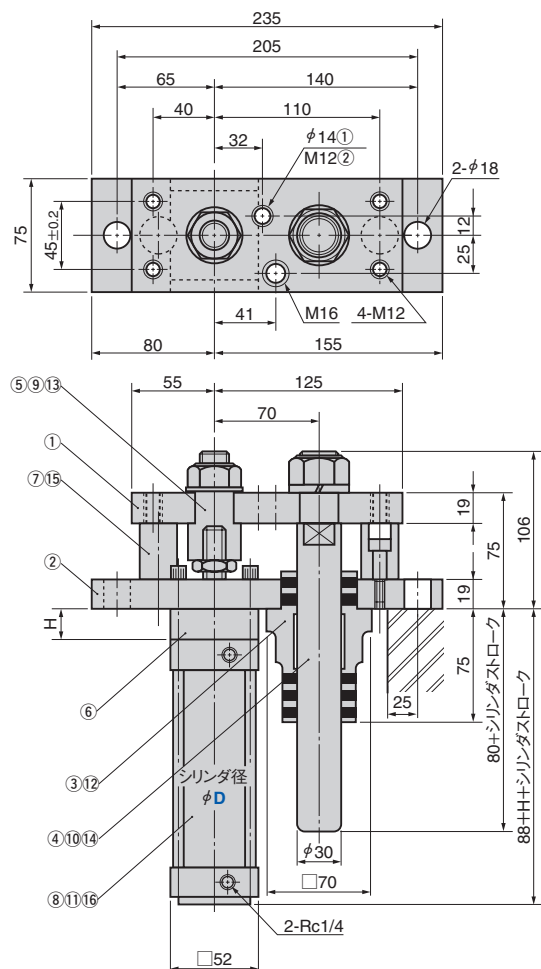
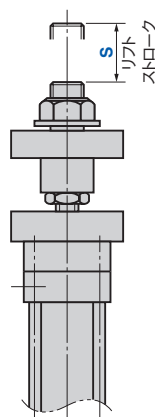


ミニリフタ

MINI TYPE LIFTER

OMLGT40

CAD
FILE



No.	名称	数	材質/備考
1	リフタプレート	1	Steel
2	シリンダホルダプレート	1	Steel
3	ガイドホルダ	1	SO#50F
4	ガイドピン	1	Steel
5	ジョイント	1	Steel
6	ブロック	1	Steel
7	ストッパ	2	—
8	エアシリンダ	1	SMC製(φ40)

No.	名称	数	材質/備考
9	U ナット	1	M20
10	U ナット	1	M24
11	六角穴付ボルト	4	M6
12	六角穴付ボルト	2	M12x35
13	平座金	1	M20
14	ばね座金	1	M24
15	ショルダボルト	2	M8x20
16	ばね座金	4	M6

Catalog No.	シリンダ径 D	リフトストローク S 指定10mm単位
OMLGT	40	10~ 50
		60~100
		110~150

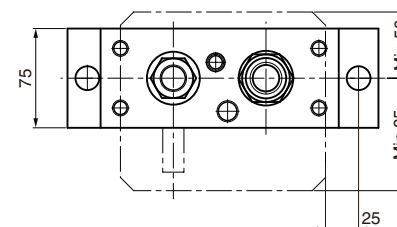
リフトストローク S	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150
ブロック高さ H	40	30	20	10	—	40	30	20	10	—	40	30	20	10	—
シリンダストローク	50					100					150				



Catalog No.	D	—	S
OMLGT	40	—	100

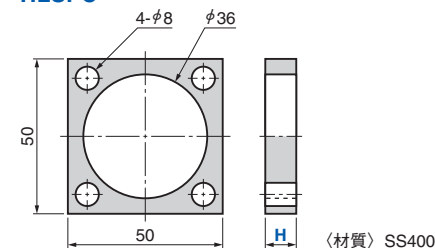
■ご使用にあたって

シリンダの実働出力 空気圧力0.5MPaの時、約600x0.7=420Nです。
取付けのための鋳抜き寸法は下図を目安としてください。



●シリンダストローク調整用ブロック⑥

HLSPC



Catalog No.	D	H
HLSPC	40	10
		20
		30
		40



Catalog No.	D	—	H
HLSPC	40	—	30

H型リフタ【概要】

OUTLINE OF H-TYPE LIFTER

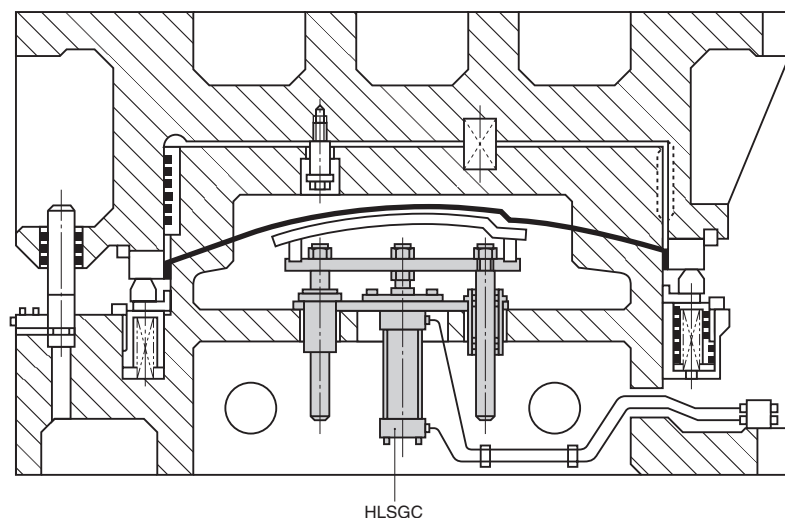
H型リフタとは

パネルのリフトアップに安定した機能を発揮する、空気圧利用のH型リフタです。

■特長

- ・堅ろうな構造のユニットで、安定したリフトアップ機能をもち、長期にわたって無給油で使用することができます。
- ・リフトアップのストローク長さも、10～300mmまでと、幅広くとりそろえています。
- ・スライド部はガイドポストタイプで、無給油化を図っています。
- ・小物パネルから大物パネルまでリフトアップに用いることができるよう、豊富な種類をとりそろえています。

■使用例

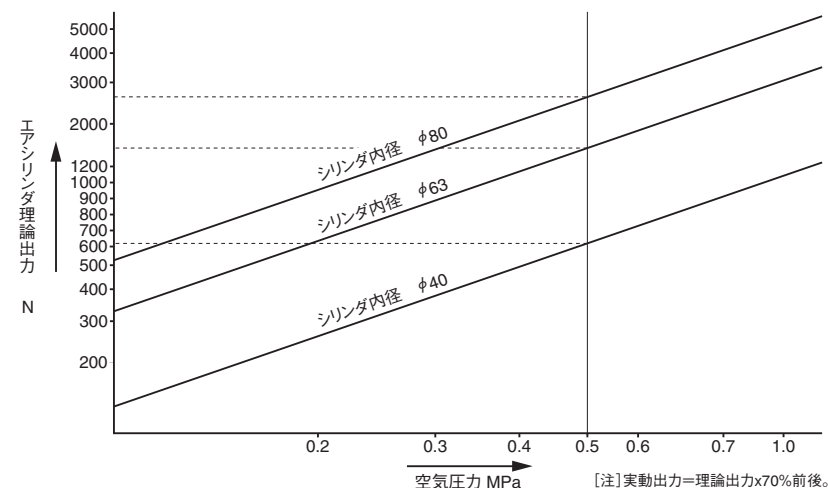


■H型リフタの規格選定手順例

所要リフトアップ力が、1000Nで所要ストロークが95mmのH型リフタを求める場合。

- 手順1** エアシリンダ理論出力は、 $1000\text{N} \div 0.7 = 1430\text{N}$ 。右上グラフで理論出力の1430Nをとる。
一方、工場の空気圧力が0.5MPaである場合にその交点を求めると、シリンダ内径はφ63となり、HLSGT63-S(ストローク)となります。
- 手順2** HLSGT63-S(ストローク)の中でパネルをリフトアップする所要ストロークが95mm以上のものは、S=100mm。
従って、HLSGT63-100となります。

●空気圧力とシリンダ出力

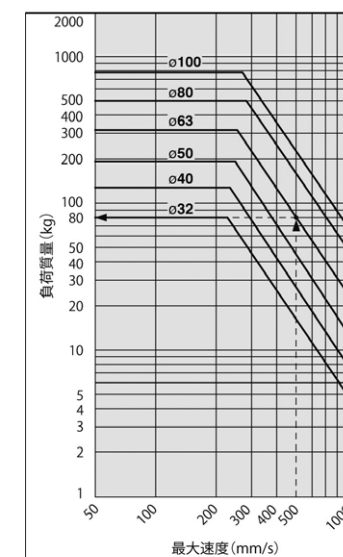


■ご使用にあたって

負荷質量によりシリンダロッドが破損する恐れがありますので、グラフ値内で使用してください。
また、速度制御のため、スピードコントローラの使用を推奨します。

ストロークが長い場合、パネルの位置決めでの使用は推奨しません。
精度が必要な場合は、別途ガイドを設定してください。

許容運動エネルギー



例) φ63のエアシリンダを最大速度500mm/sで動かすときのロッド先端負荷制限を求める。
グラフの横軸500mm/sより上に延長しチューブ内径63mmのラインとの交点を左に延長し負荷80kgが求められます。